

ヒマラヤ原産で昭和初期に渡来しました。5~6月に白い花をつけ、冬に赤い丸い実をつけます。別名ピラカンサ。

# 広島市植物公園

## 見どころ案内

### 展示会のご案内

◇展示資料館 1F (1/11~1/26)

植物写真コンテスト作品展

◇展示温室(1/11~2/9)

冬の鉢花展

### オオシマノジギク (キク科)

奄美半島から沖永良部島にかけての海岸沿いの岩場や草地に自生しています。冬に3cmぐらいの花を咲かせます。名前は奄美大島の大島からとられたもので、環境省絶滅危惧種Ⅱ類(VU)に指定されています。

### セイロンベンケイソウ

(ベンケイソウ科)

世界の熱帯・亜熱帯に広く分布し、日本でも小笠原や南西諸島の海岸で見られます。葉から不定芽を成長させることからハカメとも呼ばれています。また、マザーリーフの名前で流通もしています。

### 冬の鉢花展

カラコエなどの冬の鉢花を展示し、カラコエの繁殖戦略などをパネルで紹介しします。

### カエンボク

(ノウゼンカズラ科)

西アフリカ原産の常緑高木で、オレンジ色の釣鐘状の花を咲かせます。ジャカランダ、ホウオウボクとあわせ、世界三大花木と称されています。

### ホンコンシュスラン (ラン科)

東南アジア熱帯地方が原産で、寒さには弱く、葉っぱに赤い筋が入っていて綺麗です。日本のシュスランとは別種で、別名ジュエルオーキッドとも呼ばれます。

### カンツバキ (ツバキ科)

一説ではサザンカとツバキの交配種と言われている、冬に赤い花をつけるツバキです。ヤブツバキの様に樹高が大きくなり、形が整いやすいことから庭木などとしても利用されています。

### ハボタン (アブラナ科)

キャベツと同種で、そのルーツは江戸時代以前に日本に渡来した食用ケールだといわれています。日本で観賞用に改良された園芸植物で、冬の花壇に欠かせないものです。

### ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

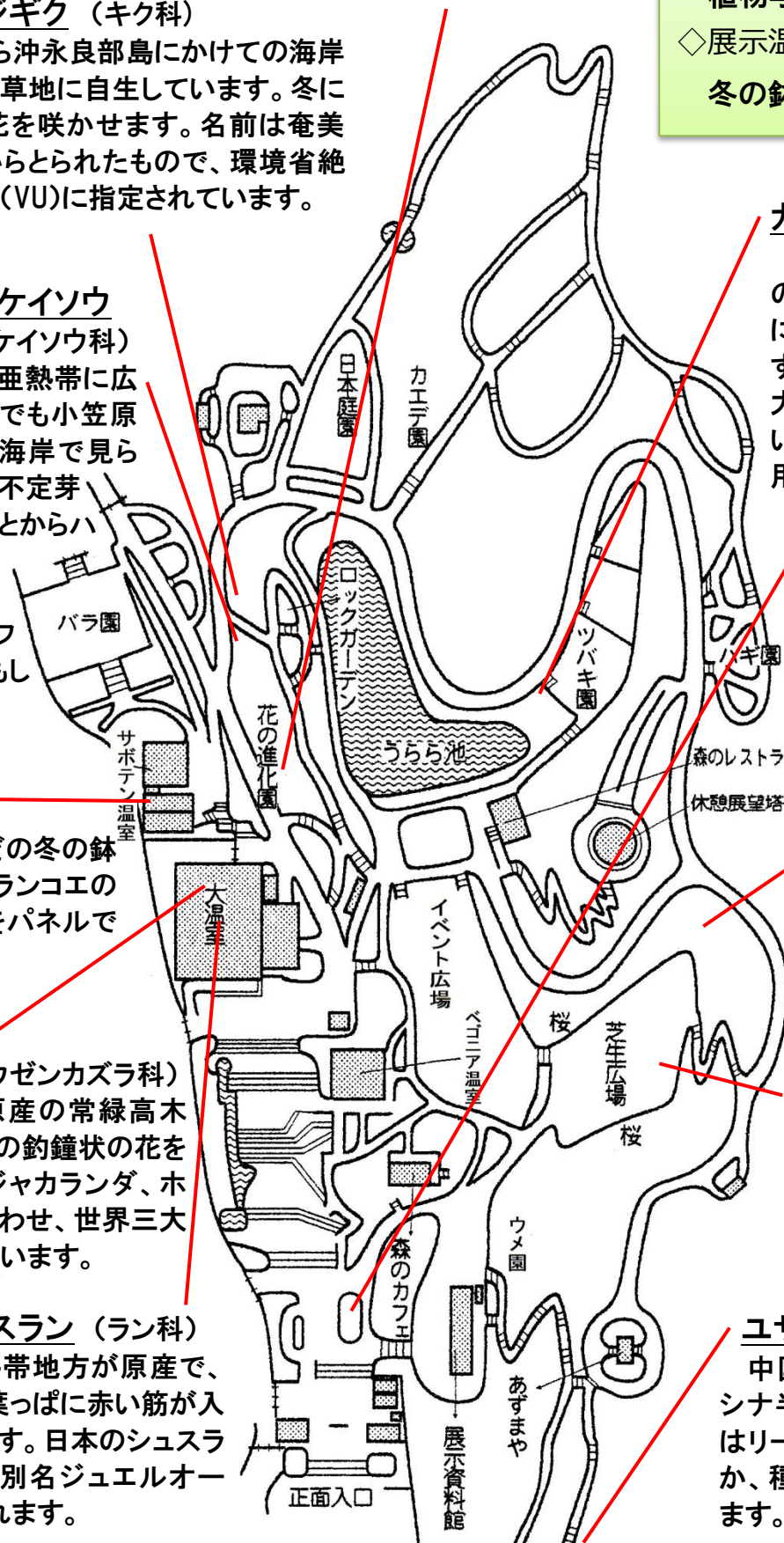
半透明の鈍い艶がある花びらがまるで蠟細工の様にみえます。咲き始めています。

### タチバナモドキ (バラ科)

中国原産で日本には明治時代に観賞用として導入されました。名前の由来は果実がタチバナに似ているところから来ています。

### ユサン (マツ科)

中国中西部、台湾及びインドシナ半島を原産とし、松ぼっくりはリース材などに利用されるほか、種子からは墨の原料ができます。



❁ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します❁

❁ 毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します❁